

第21回  
高校生ものづくりコンテスト  
九州大会（2022長崎大会）

**実施要項**

（家具・工芸部門）

期 日 令和4年7月9日（土）～10日（日）

会 場 長崎県立長崎工業高等学校

大会日程

	時 間	内 容	会 場
7月9日 (土)	13:00～13:30	受 付	長崎県立長崎工業高等学校
	13:30～16:00	打合せ・準備	各部門会場
7月10日 (日)	7:30～ 8:30	受 付	各部門会場
	8:30～ 9:00	開 会 式	視聴覚室
	9:00～ 9:30	準 備	各部門会場
	9:30～12:00	競 技	
	12:00～14:30	審査・昼食	
	14:30～15:00	表彰式・閉会式	視聴覚室

## 令和4年度 第21回

# 高校生ものづくりコンテスト九州大会（2022長崎大会）

## 「家具・工芸部門」実施要項

1. 期日 令和4年 7月 9日（土） 準備、練習  
令和4年 7月 10日（日） 準備、開会式、競技、閉会式・表彰式
2. 会場 <家具・工芸部門>  
長崎県立長崎工業高等学校 第2体育館  
住所 長崎市岩屋町41番22号
3. 課題  
次の仕様及び注意事項に従い、配付されたシナ合板に加工に必要な原寸図を書き、支給された材料で製作しなさい。

1. 競技時間 2時間30分

### 2. 仕様及び注意事項

#### (1) 仕様

- ①競技用図面に基づき製作する。  
※図中A(150)は抽選にて、140mm～160mmの範囲で決定する。
- ②墨付けは、白書きと鉛筆の両方を使用してもよい。
- ③仕口部分には、必要に応じて入り面等の面取りを行う。
- ④各仕口の目違い払いを行い、各部材の4面及び木口の仕上げ削りを行う。
- ⑤各部材は糸面取りを行う。(ただし、脚の脚先(接地部分)は糸面を取らない。)
- ⑥木殺しは可とするが、水湿しは不可とする。
- ⑦鉋仕上げ前の水拭きは禁止する。
- ⑧組立てには、接着剤を使用しないこと。

#### (2) 注意事項

- ①作業場所の抽選は、9日に参加者名簿順(ゼッケン番号順)に予備抽選を行い、本抽選の順番を決めた後、抽選を行い決定する。  
※支給材料等は、作業場所にビニール袋に入れて事前に配付する。  
配付後の養生は各学校に任せる。
- ②支給材料等の種類・寸法・数量等を確認する。  
※材料の変更は、板材①を本抽選順に、脚材②をその逆の順に時間を設けて実施する。10日の競技前の変更も可能とするので、申し出ること。
- ③競技開始後の支給材料の再支給は減点対象とする。
- ④使用工具等は、一覧表で示したものを以外は使用しない。選手間での工具等の貸し借りを禁止する。
- ⑤競技前の鉋刃の調整は、選手・指導者ともに可能とするが、毛引きや自由がね等の事前固定は禁止する。
- ⑥競技時は、作業に適した作業服を着用する。上履きは、各自準備すること。

- ⑦作業場所は、常に整理整頓し、安全作業を心掛ける。
- ⑧組立が完了したら、審査員に手をあげて申し出て、指定の場所に提出する。  
※提出後は作業エリアの清掃のみを行い、その場で待機する。
- ⑨蟻定規、電卓は使用禁止とする。
- ⑩競技時間内に組み立てられなかった場合は、途中の状態で提出する。
- ⑪競技会開始後、全ての課題が終了するまでは、競技の公正さを損ねないため、選手同士の会話や引率者の選手へのアドバイスを禁ずる。
- ⑫その他の注意事項の詳細については、競技会場において指示する。

#### 4. 支給材料

- ① 本体材種 米ヒバ
  - ・寸法（数量） 長さ 600 mm×幅 180 mm×厚み 18 mm（1 枚）  
長さ 450 mm×幅 40 mm×厚み 18 mm（4 本）
  - （材料の表面は手押・自動鉋かけとし、幅・厚みは、鉋仕上げの削りしろとして約 0.3mm 程度大きめの状態で支給する。）
- ② 作図用 シナ合板
  - ・寸法（数量）長さ 450 mm×幅 350 mm×厚み 4 mm（1 枚）
  - （作図用とし、加工はしないものとする。）
- ③ 皿木ねじ 呼び径 3.5 長さ 38（2 本）

#### 5. 競技場の設備

- ① 立式作業台 1800×900×700（H）（別紙）
- ② 鉋削り用あて木 240×30×12・木ねじ 2 本
- ② 電源（100V用）

#### 6. 選手の持参工具

No.	工具名	規格又は寸法	数量	
1	胴付き鋸	210～240mm 程度	1	
2	ほぞ挽き鋸	210～240mm 程度	1	
3	両刃鋸（替刃縦・横可）	210～240 mm程度	1(2)	
4	平鉋		適宜	
5	際鉋	右勝手、左勝手	各 1	必要に応じて
6	追入れのみ		各種	必要に応じて
7	向こうまちのみ		各種	必要に応じて
8	薄のみ		各種	必要に応じて
9	自由定規（自由スコヤ）		適宜	
10	直角定規（スコヤ）、差金		各 1	
11	留め定規（留めスコヤ）		1	
12	ノギス		1	
13	白書き		1	
14	筋け引き	150～200 mm程度	適宜	鎌け引き可
15	玄能		各種	木槌、金槌可
16	きり	三つ目又は四つ目	1	
17	電動ドリル	インパクト可	1	充電式可
18	ドリル		適宜	下穴・皿もみ等

19	ドライバ・ビット		適宜	
20	十字ドライバー		適宜	必要に応じて
21	端金	300 mm程度	適宜	必要に応じて
22	クランプ		適宜	必要に応じて
23	木口台、摺り台		各 1	必要に応じて
24	打ち当て（当て木）		1～2	必要に応じて
25	時計		1	必要に応じて
26	筆記用具一式		適宜	
27	製図道具一式	ものさし・ディバイダ等	適宜	必要に応じて

注) 使用工具等は表中のものに限るが、同一種類のものは予備(1～2個)を持参してもよい。  
課題専用に位置決めされたけ引き及び加工された治具、工具の使用は不可とする。

## 7. 採点項目（配点）及び観点

### (1) 採点項目と配点

採点項目	配点
仕口加工精度	40
寸法精度	25
鉋仕上げ	15
作業手順	10
作業状況・安全作業	10
合計	100
怪我	基準により減点
仕様誤り	基準により減点
材料再支給	基準により減点

※シナ合板に作図した図面については、審査対象としない。

### (2) 観点

- ①仕口ごとの加工精度      ・ ・ 完成状態及び分解状態での評価
- ②完成品の寸法精度・ひずみ      ・ ・ 指示された各部の仕上がり寸法等
- ③鉋仕上げ      ・ ・ 鉋まくら、逆目、墨付け線、作業傷、糸面取り
- ④作業手順      ・ ・ 加工精度に影響する作業手順
- ⑤作業状況・安全作業      ・ ・ 服装態度、道具・材料の取り扱い及び整理整頓  
怪我をした場合減点とする
- ⑥製品仕様      ・ ・ 仕様誤り、材料再支給により減点（最大 20 点）

例) 仕様誤り 1カ所に付き 3点×4カ所=12点

材料再支給 1本につき 4点×2本（2本再支給）=8点

これ以上減点があっても 20点までとする。

## 8. 家具・工芸部門担当者連絡先

長崎県立長崎工業高等学校 インテリア科 北川 友也

電話：095-856-0115

FAX：095-856-0117

E-mail:  [kitagawa7875@news.ed.jp](mailto:kitagawa7875@news.ed.jp)

※問い合わせについては、所定の様式を用いて E-mail でお願いします。



10. 会場案内

